

JR室蘭線を利用して お得にグループ旅行を楽しもう

鉄道等利用促進活動費助成金事業のご紹介

問合せ（安平町の公共交通相談窓口） 政策推進課政策推進グループ ☎ 2751

● 室蘭線の現状と利用促進の取り組み

通勤や通学など、生活になくてはならない公共交通機関である『鉄道』。まちの中心を走り、4駅（遠浅駅、早来駅、安平駅、追分駅）が属している室蘭線、追分駅が属している石勝線の2つの路線が運行しています。

平成28年11月、JR北海道は「自社単独では維持することが困難な線区」を発表。室蘭線の沼ノ端駅－岩見沢駅間もその1つです。

駅名	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年
遠浅駅	66	59	39	49
早来駅	306	283	157	168
安平駅	40	26	10	28
追分駅	607	426	349	372

▲ 安平町内4駅の乗降者数（単位：人）

沿線住民の私たちは、改めて室蘭線の厳しい状況を知ると同時に、子どもたちの通学先への影響や移住定住など住みよいまちづくりの根幹を揺るがす大きな問題が生じていることを強く認識する必要があります。

室蘭線という年間10億円以上もの投資が行われている民間による公益事業を、まちづくりや生活に活かさない手はないと考え、これまで以上に「鉄道の利用・活用」について私たちは行動を起こしていかなくてはなりません。

【安平町や室蘭線アクションプラン実行委員会による象徴的な取り組み】

ウォーキングイベントによる利用促進

令和元年度から岩見沢駅、追分駅、沼ノ端駅、苫小牧駅で15回のウォーキングイベントを開催し、5年間で5,652人がJRを利用。また、いつでも参加可能なコースを由仁駅、栗山駅に設定し5年間で1,678人が参加。イベントウォークと合わせて7,330人が参加しました。

お祭り会場利用クーポンを駅で配布（JR室蘭線で行こう！うまかまつり）

鉄道利用によるうまかまつり来場者に、会場で使用できるクーポンを配布。事前に町民や沿線の駅でPRを行いました、コロナ禍による中止を除いた令和元年・4年・5年の5日間で657人に配布を行い、まつりの賑わいと鉄道の利用促進を図りました。

【収入】100百万円



【費用】1,170百万円

※端数処理のため合計値が合わない場合があります。



▲ 令和4年度 室蘭線（沼ノ端－岩見沢間）収支状況（単位：百万円）